

式辞

三方五湖の湖面に春らしくおだやかな風が舞う季節となりました。本日、ここに、ご来賓の皆様、そしてご家族の皆様の臨席を賜り、福井県立美方高等学校・第56回入学式が挙行できますこと、心より感謝申し上げます。

本日、入学を許可いたしました新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。心からお祝い申し上げますとともに、美方高校教職員一同皆様のご入学を歓迎いたします。

ご家族の皆様、ご息がこの晴れの日を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。教職員一丸となって生徒一人一人丁寧に、それぞれの個性を大切に教育にあたっていく所存です。どうかこれから本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、本校は、若狭町、美浜町をはじめ地域の皆様からの温かなご支援をうけ、昭和44年に開学し、今年度で創立56年目を迎えます。今日は新入生の皆さんに本校の校訓である明・強・清のことを紹介したいと思います。美方高校の開校に先立ち、初代 苅田益二 校長が地域の方々に広く意見を聞き、教育の方針を決めていかれたという経緯がありました。「明朗で」「力強い」しかも古くから神聖視されてきた泉ノ原台地を校地として建つ学校にふさわしい「清らかさ」を持った生徒の育成に力を注ぐことを美方高校の教育の理想像とされました。そこで、「風光明媚な三方五湖のような明るい生徒を育成したい、日本海の荒波にも立ち向かえるような力強い生徒を育てたい、由緒ある清らかな土地柄にふさわしい生徒になってほしい」このような願いを込め、校訓が「明」「強」「清」となったのです。この校訓は、先人から脈々と受け継がれ、ここで育った1万2千名の同窓生が全国各地で活躍しています。新入生の皆さん、いよいよ皆さんの舞台の幕が開く番です。「明・強・清」この校訓をさまざまな場面で意識して、学業、部活動、探究活動などいろいろなことに挑戦していただきたいと願っています。

しかし挑戦の過程では思うようにならないこと、失敗が重なって落ち込むなど、多くの困難に阻まれることもあると思います。そんなとき、背中を押してくれる仲間が存在が不可欠です。ひとりではない、それが挑戦へのパワーになるのです。この学び舎に今、県内、県外から多くの仲間が集いました。偶然とはいえ、この出会いこそが奇跡だと思います。どうか交流の幅を広げ、多くの関係を築いていってください。その仲間こそが一生の財産となると思います。

結びに、ご家族の皆様に改めてお祝いを申し上げますとともに、新入生の皆さんのご活躍を祈念いたしまして式辞といたします。

令和6年4月8日
福井県立美方高等学校長 北村 徹